

トルコ為替週報

2022年1月25日 | みずほ銀行欧州資金部

〈過去1週間の動き〉

(1月18日～1月24日)

USD/TRY: 13.2600～13.6600

TRY/JPY: 8.39～8.59 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は、対ドルで、堅調気味の小動き。対円では8台半ばを中心とした膠着に終始したが、これは、並行した円全面堅調とリラ堅調とが打ち消しあった結果。円堅調は、米連銀による急速な金融引き締めに対する警戒感が、米株の下押しを誘った結果のリスク回避の動きと位置づけられた。リラ堅調には、トルコ側に相応の要因があったが、最も大きかったのは、トルコ中銀金融政策委員会による利下げ見送り(20日)。その決定に先駆け、エルドアン大統領が、18日、「金利は緩やかに下落する」と述べたことが、昨年9月から4会合連続計500b.p.引き下げられた政策金利も、当面は据え置かれるとの解釈をされた。その意味で、今般の利下げ見送りは市場の予想通りの決定と言えたが、それでも、20日の決定発表後、リラはもう一段水準を切り上げた。もうひとつ、トルコ中銀とアラブ首長国連邦(UAE)の中銀が、スワップ協定締結を発表したこと(19日)も、リラには押し上げ材料と読めただろう。UAEは、先に、トルコ国家ファンド(TWF)への投資でも合意しており(その後詳細を聞かないものの)、スワップ協定締結も期待されていた。50億ドル規模というのも、期間3年というのも、「悪くない」内容と言えただろうが、今般の一連の協定で、トルコが、「(従来から緊密な関係にある)カタールともUAEとも友好的な関係」をアピールできるようになったことも、中東の地域大国としての立場を確保する上で前向きに評価できるものと考えられた。

〈過去1週間に発表された主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
1/20	11:00	1週間物レボ金利		14.00%	14.00%	14.00%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

〈向こう1週間の見通し〉

(1月25日～1月31日)

USD/TRY: 13.350～13.750

TRY/JPY: 8.25～8.45

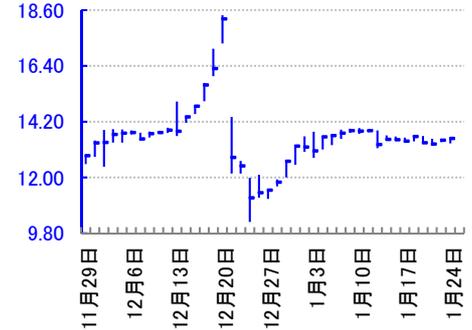
向こう1週間のトルコ・リラ相場は、軟調気味の横ばいを予想。軟調を予想するのは、リラ軟調よりも、ドル堅調を警戒するから。米12月CPIの発表(12日)をきっかけに一旦水準を切り下げたドルだったが、同CPIは市場予想通りの内容で、前年比+7.0%は39年ぶりの高水準だった。どうしてドルが売られたのか、「持ち高調整的な下振れ」という以外に、未だにその理由をはっきりしない。そうして売り込まれたドルも、足元は、対円を除いて概ね堅調で、ドル指数(ICE)も12日以前の取引水準を回復している。一方、トルコ側には、上述、UAEとのスワップ協定締結、トルコ中銀利下げ見送りなど、前向きに評価できる要因が並んだが、それだけで継続的なリラ高への方向感が打ち出せるとは、やはり、考え難い。まず、同国の実質金利が、極端に深いマイナスにある事実(政策金利14%に直近(12月)CPIは+36.08%)にある事実は引き続き重い。トルコ国民の生活実感として(注)、リラという通貨で資産を保有(運用)する動機付けが見いだせないのではないかと。そうした感覚を前提に、トルコ当局が為替差損の一部を補償するリラ建預金の利回り14%から最大17%(政策金利+300b.p.)が、どこまで外貨建資産からリラ建資産への転換を促すものか、疑念を抱かずにはいられない。例えば、1月25日のトルコ中銀リラ公示売値(対ドル)は13.4087であったが、このレートを起点にすれば(この日為替差損補償付リラ預金に投資したとすれば)、同公示売値が15.5916を超えた時点で為替差損の補填が始まり、16.1552を超えた時点で、それ以上の為替差損は実損(機械利益の喪失)になる。現行水準から16は遠くに感じるかもしれないが、経常収支が赤字に転落した事実(11月)に鑑みて、12へのリラ高を見込むよりも、16へのリラ安を見込む方が、中期的には蓋然性が高いと言わざるを得ない。こうした目線で、目先、12月貿易収支や同外国人観光客の動向にも注目しておきたい。

〈向こう1週間に発表予定の主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
1/31	7:00	貿易収支(USD)	12月			-5.40bn
	8:00	外国人観光客(前年比)	12月			-111.5%

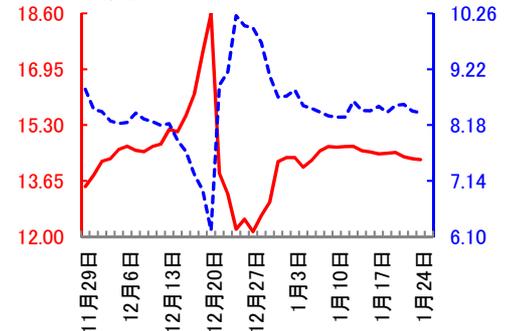
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

USD/TRYの推移(日足/ロンドン 7:00～17:00)



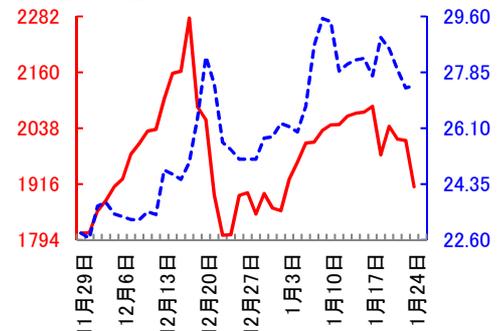
バスケット/リラの推移(トルコ中銀公示)

リラ/円の推移(ロンドン 17:00)



株式市場の推移(ISE 100種指数)

長期金利の推移(5年スワップ金利)



(資料: トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

トルコ関係主要経済指標

1週間物レボ金利		14.00%
成長率(GDP/前年比)	Q3	+7.4%
失業率	11月	11.2%
消費者物価(前年比)	12月	+36.08%
鉱工業生産(前年比)	11月	+11.4%
小売売上高(前年比)	11月	+16.3%
貿易収支(USD)	11月	-5.40bn
経常収支(USD)	11月	-2.68bn

(注) 市民の生活実感では、物価は既に前年比+50%超という声も聞かれる